大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F123310106577	設置等組織名	情報社会学部情報デザイン学科
大学名	椙山女学園大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	愛知	事業計画名	情報社会学部情報デザイン学科の新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	該当なし	該当なし	令和5年度自己評価：リストから選択してください。
令和6年度	3-①R6年度　学部事務室人件費	3-①R6年度　学部事務室人件費	令和6年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	2後-①令和7年度　情報社会学部棟建設工事費（R7.12.18承認） 3-②R7年度　学部事務室人件費	2後-①令和7年度　情報社会学部棟建設工事費（R7.12.18承認） 3-②R7年度　学部事務室人件費	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	2後-②令和8年度 情報社会学部棟建設工事費（R7.12.18承認） 2後-③令和8年度　什器等新規購入（R7.12.18承認） 3-③R8年度　学部事務室人件費 3-④R8年度　外部評価　謝金		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	3-⑤R9年度　学部事務室人件費 3-⑥R9年度　椙山未来会議(仮)（謝金,印刷製本費,消耗品費）		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	該当なし	該当なし	令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度	該当なし	該当なし	令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度	該当なし	該当なし	令和12年度自己評価：リストから選択してください。
令和13年度	該当なし	該当なし	令和13年度自己評価：リストから選択してください。
令和14年度	該当なし	該当なし	令和14年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和５年3月認可申請	令和５年３月　情報社会学部情報デザイン学科　設置認可申請	
定員減又は 学部等の廃止	令和6年2月　文化情報学部　文化情報学科　　学生募集停止の報告（入学定員１２０人） 令和6年度文化情報学部文化情報学科　学生募集停止（入学定員120人※3年次編入学定員2人は、令和8年4月募集停止） 令和6年2月　文化情報学部　メディア情報学科　学生募集停止の報告（入学定員１００人） 令和6年度文化情報学部メディア情報学科　学生募集停止（入学定員100人※3年次編入学定員2人は、令和8年4月募集停止）	令和6年2月　文化情報学部　文化情報学科　　学生募集停止の報告（入学定員１２０人） 令和6年度文化情報学部文化情報学科　学生募集停止（入学定員120人※3年次編入学定員2人は、令和8年4月募集停止） 令和6年2月　文化情報学部　メディア情報学科　学生募集停止の報告（入学定員１００人） 令和6年度文化情報学部メディア情報学科　学生募集停止（入学定員100人※3年次編入学定員2人は、令和8年4月募集停止）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	椙山女学園大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業と連携した科目として、㈱デンソー等の企業と連携し１年次では「基礎演習」、３年次では「プロジェクト演習A,B」、４年次では「卒業研究A,B」において、自治体との連携として日進市や愛知県児童総合センター等と連携した２年次の「遊びと学びのデザイン」にて、ものづくりを通じたPBL、名古屋市瑞穂区や高浜市と連携した「地域の課題と情報技術」にて、子育て支援の情報発信を通じたPBL等を計画している。その他スターキャット・ケーブルネットワーク㈱では「行政と情報」、㈱エイチームエンターテインメントでは「ゲームプログラミング」など非常勤講師を派遣する企業と連携しPBLを行う。さらに、これまでのインターンシップ（教養教育科目「キャリア形成実習Ⅰ・Ⅱ」）に加え、TRUNK㈱と連携し同社が運営する「Workschool」でビジネスに必要なITスキルを学び、長期インターンシップへの挑戦を促している。また、他大学と連携した科目として名古屋大学や中京大学と「プロジェクト演習A,B」「卒業研究A,B」にてPBLを行う計画である。	ほぼ計画通りに実施できている。 １年次では、昨年と同様に（株）デンソー等の企業と連携し、必修科目「基礎演習」において、社会課題を情報で解決することを目指したリサーチやプレゼンテーションスキルの習得を行い、その成果を報告書にまとめた。 2年次には、必修科目「情報処理演習A」や、選択科目「遊びと学びのデザイン」での学びを活かし、愛知県児童総合センターと連携して、6月、9月、2026年2月に、また、愛知県日進市と連携して、3月に、地域の子どもたちが情報技術を活用したもの・コトづくりを体験できる場を設定し、実践を行った。また、「地域の課題と情報技術」で東区文化の道ガイドボランティアの会（NPO）と地域の課題解決の実践を行った。	「地域の課題と情報技術」で予定していた、名古屋市瑞穂区や高浜市との連携は、履修者が多いことから、令和７年度に始まる3年次科目「プロジェクト演習A・B」で行うこととした。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
入学者選抜における科目の見直しとして、本学では2024年度入試から一般入試Ａにおいて3教科型の入試を新たに全学部・全学科において採用する。また、公募制推薦入試においても新たに教科型を採用し、より幅広い受験生の獲得に乗り出す。女子学生の確保（志願者増）に向けた取組としては、本学は女子大であることから、その取組すべてが該当することとなる。地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）については、併設校の椙山女学園高校に対しては、2年生の年度初めに全生徒に対して大学説明会を開催し、年度末にも全生徒に対して模擬授業を行っている。保護者に対しては、各年度において保護者に対して大学の説明会を実施している。また、本学では高大連携協定校が9校あるが、当該高校を対象とし、祝日の授業日を利用した学部の正規の授業への参加を行っている。	・入学者選抜における科目の見直しとして、2024年度入試から一般入試Aにおいて3教科型の入試を新たに全学部・全学科において採用した。また、より幅広い受験生の獲得に向け、公募制推薦入試において教科型を2日間実施した。 ・理工系の受験者獲得に向け、一般入試において数学型(数学を必須)と国語型(国語を必須)の選択方式を実施した。 ・地域の初等中等教育段階の学校との連携としては、本学科では県立高校や私立高校からの情報に関する出張授業の依頼を受け、教員が担当した。 ・併設校の椙山女学園高校に対しては、2年生の年度初めに全生徒に対して大学説明会を開催し、年度末には模擬授業を行った。また、3年生の保護者に対しても、年度初めに説明会を実施した。 ・本学では高大連携協定校が9校あるが、そのうち聖マリア女学院高等学校や、光ヶ丘女子高等学校では、出張授業や探究学習などの支援を実施し、連携関係を強めた。祝日の授業日を利用した学部の正規の授業への参加を行った。	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	椙山女学園大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

年度	区分	指摘事項等	対応状況
令和6年度	実施状況報告書留意事項	R7 年度収容定員充足率が0.77（情報社会学部情報デザイン学科）となっている。収容定員未充足の改善に努めること。	令和8（2026）年度入試から以下の点において受験者確保に努めている。 広報活動としては ①オープンキャンパスでは令和6（2024）年度から実施している4月からの早期実施に加え、競合校との日程を参考にしながら開催日程の見直しを行った。 ②オープンキャンパスでの情報デザイン学科独自の取り組みとして、「大学入学共通テストの「情報」対策講座の実施」「研究室案内の作成」を行った。 ③入試対策講座を実施しており、一般入試の対策講座はオンライン上で視聴できる環境を整え、総合型選抜や公募制推薦入試の対策講座は対面で9月に実施した。 ④ウェブサイト「入試情報ページ」での、情報提供及び入学促進のため、継続した仕様改良や情報更新、魅力ある情報発信、SNSやDM等はAIを活用し効率的に行っている。 ⑤令和7（2025）年度入試に引き続き、大学入試広報の事務職員強化チームや高大連携入学相談アドバイザーによる広報体制・高校訪問の体制の強化を行っている。 入試改革としては ⑥一般入試Ａ（3教科型）受験者に2教科型の併願制度を令和7（2025）年度入試から継続して実施している。 ⑦公募制推薦入試Ⅰ期の日程を従来の1日間から令和8（2026）年度入試では２日間に設定し、併願出願においては最大3出願可能とした。 ⑧受験料について初回の出願を30,000円、2回目以降の出願は5,000円とする椙大エール割を行い、出願のしやすさに努めている。 ⑨情報デザイン学科等、一部学部で実施していた「外国人留学生入学特別選抜」について、令和8（2026）年度入試から実施学部学科を拡大するとともに、日本語能力に係る出願資格を見直し、出願しやすくした。これに伴い、外国人留学生の在学中における学修・生活面の支援、特に日本語能力のより一層の向上のため、日本語科目等の教育内容を充実する。 令和9（2027）年度入試では上記に加え以下の点に取り組んでいる。 ⑩令和9（2027）年度入試の総合型選抜(AO選抜)では、新たにワークショップ・体験型を設け、8月7日にワークショップを実施し、その案内を7月までのオープンキャンパスにおいて周知している。 ⑪総合型選抜(AO選抜)に自己アピール入試を新たに設け、3月5日に実施する。 ⑫指定校制推薦の対象となる高校の拡充として、通信制高校に対して指定校を追加した。 ⑬令和10（2028）年度に向けたキャンパスリニューアルの広報を多角的に行い学科の魅力発信に努めている。 ⑭学科独自に土曜講座を毎月開設し、高校生に親しみやすく大学の学びに触れられる機会を提供している。

大学名	椙山女学園大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	情報社会学部情報デザイン学科（工学/社会学関係）

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定・認可	開設																	
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	100	100	100															
		編入学定員	人	-	2	2	2															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	100	100	100															
		入学者数	人	-	76	77	76															
		女子学生数	人	-	76	77	76															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	100	100	100															
		入学者数(B)	人	-	76	77	76															
		女子学生数	人	-	76	77	76															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	0.76	0.77	0.76															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	100	200	302															
		編入学定員	人	-	-	-	2															
		在籍者数(D)	人	-	76	154	231															
		編入学者数	人	-	-	-	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	0.76	0.77	0.76															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	7	22	31															
		授業科目の単位数	単位	-	92	120	156															

大学名	椙山女学園大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	100	100	100															
		入学者数	人	-	76	77	76															
		女子学生数	人	-	76	77	76															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	100	100	100															
		入学者数(B)	人	-	76	77	76															
		女子学生数	人	-	76	77	76															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	0.76	0.77	0.76															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	100	200	302															
		編入学定員	人	-	-	-	2															
		在籍者数(D)	人	-	76	154	231															
		編入学者数	人	-	-	-	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	0.76	0.77	0.76															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	7	22	31															
		授業科目の単位数	単位	-	92	120	156															

大学名	椙山女学園大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1347	1347	1347	1347															
		入学者数	人	1276	1132	1256	1310															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,347	1,347	1,347	1,347															
		入学者数(B)	人	1,276	1,132	1,256	1,310															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.95	0.84	0.93	0.97															
	収容定員等	収容定員(C)	人	5474	5474	5474	5474															
		編入学定員	人	86	86	86	86															
		在籍者数(D)	人	5363	5055	4941	5012															
		編入学者数	人	46	32	21	19															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.98	0.92	0.90	0.92															

４.外部資金の状況（全学）

改組状況		H30年度 申請−5年	R1年度 申請−4年	R2年度 申請−3年	R3年度 申請−2年	R4年度 申請−1年	R5年度 選定	R6年度 開設	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	83,202	89,269	91,074	93,862	101,869	82,282	117,824	110,237											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金	千円	91,402
本事業による助成金の額(F)	千円	1,570,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	130,652

特記事項

情報デザイン学科　入学者数は令和6年度76名、令和7年度77名であるが、令和7年度に学部2年生1名が転学したため、在籍者数を154名とする。